

2023

議会だより

# ふそろ

第257号

9月定例会  
(9月1日~27日)

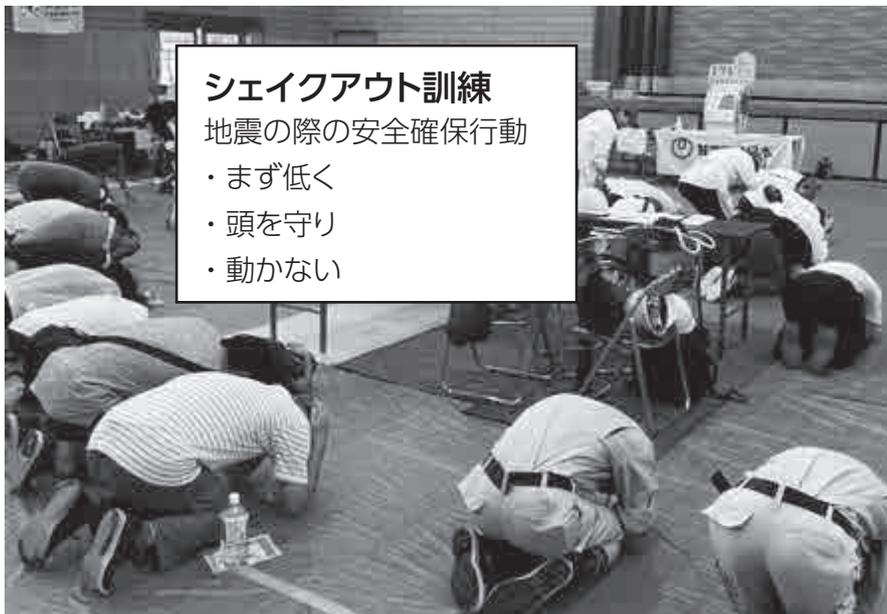


## 主な内容

- 特集 防災訓練 **地域防災**を考える …… 2~3P
- 令和4年度決算 **自主財源増加!** …… 4~5P
- ここが聞きたい 9月定例会一般質問 …… 9~21P
- キラリまち人 紹介 …… 22P

9月3日山名小学校で開催された防災訓練  
ドローン操作の様子(関連記事2~3P)

発行/扶桑町議会 編集/議会だより編集特別委員会



**シェイクアウト訓練**  
地震の際の安全確保行動

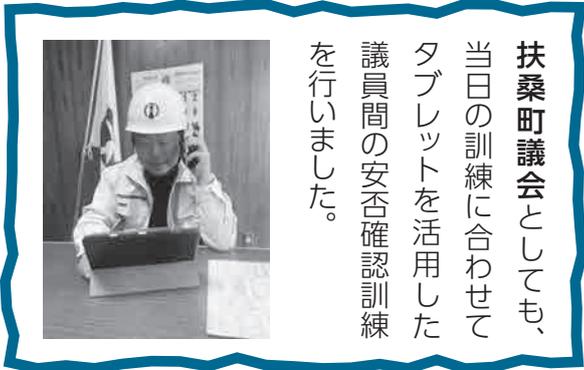
- ・まず低く
- ・頭を守り
- ・動かない

**地域防災を考える**

災害が発生した時に「適切な行動をとる」また「被害の軽減」のためにはまず、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、日頃からの訓練が大事です。 **万が一の時、自分は何をすればよいのか！自分と家族の命を守るため、最善の選択ができるのは「あなた自身」です。**



簡易担架作り体験  
毛布と洗濯竿だけで  
しっかりしてるね。



**扶桑町議会**としても、  
当日の訓練に合わせて  
タブレットを活用した  
議員間の安否確認訓練  
を行いました。



トイレもこれなら安心だね。

災害時、水道が止まったら  
どうする？



ケガをした時の応急  
処置の方法を知って  
おくといいですね。



令和5年度

# 扶桑町総合防災訓練



## 安否確認訓練

我が家は無事ですという「安否確認ツール」を外から見やすいところに掲示。

隣近所で安否を確認することは被害の早期発見につながります。山名校下の皆さんを対象に行いました。

確認件数 / ツール掲示件数  
山那地区 60/45  
小淵地区 139/65  
南山名地区 400/161

日時：9月3日(日) 10:30～

会場：山名小学校

## 当日の参加者数

山那 30	柏森 5
小淵 86	斎藤 8
南山名 92	高木 7
高雄 23	その他 21
合計 272名	

## 避難誘導訓練

地区の危険箇所を事前に把握し、災害が発生した際、安全に避難場所に避難するための訓練です。



## 参加者の声



◆初期消火訓練が面白かったです。

◆給水場があったのでよかったです。

◆年々、気温が高くなってきているので、会場内も暑いし、訓練の時期を1ヶ月後にずらしてもいいような気がします。

◆年輩の方が歩いて避難するのは大変と感じました。

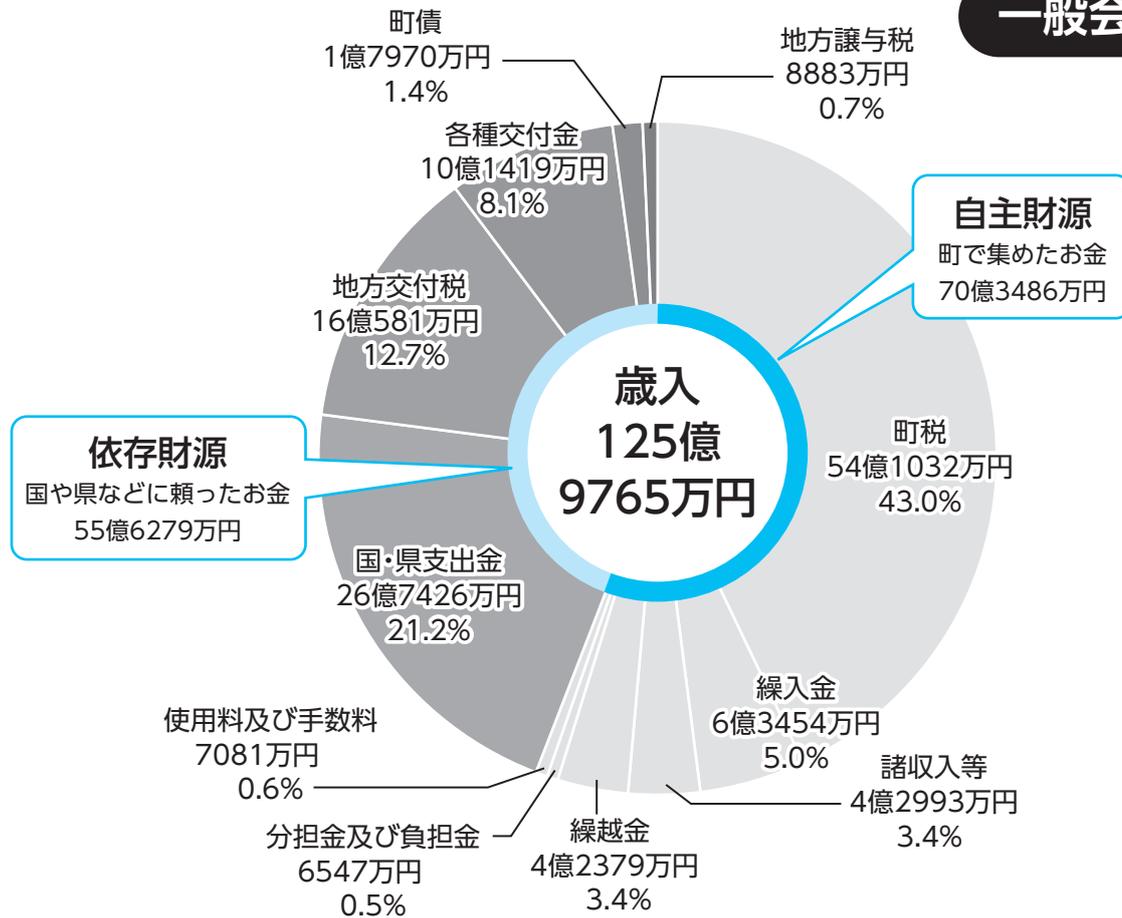
◆こういった訓練を肌で感じる事ができてよかったです。



◆発災直後から自分の取るべき行動の知識・技術を習得、防災意識の高揚を図ることを目的に、スタンプラリー方式で皆さんが体験できたことは大変よかったと思います。粗品も頂きました。

# 源 増 加 ！ ！

## 一般会計決算状況



令和5年9月1日から9月27日まで9月定例会が開催されました。  
 今回の定例会では令和4年度の一般会計を始めとして各特別会計の決算認定案が提出され、審議の結果、全会計とも原案どおり認定しました。

## 令和4年度会計別歳入・歳出

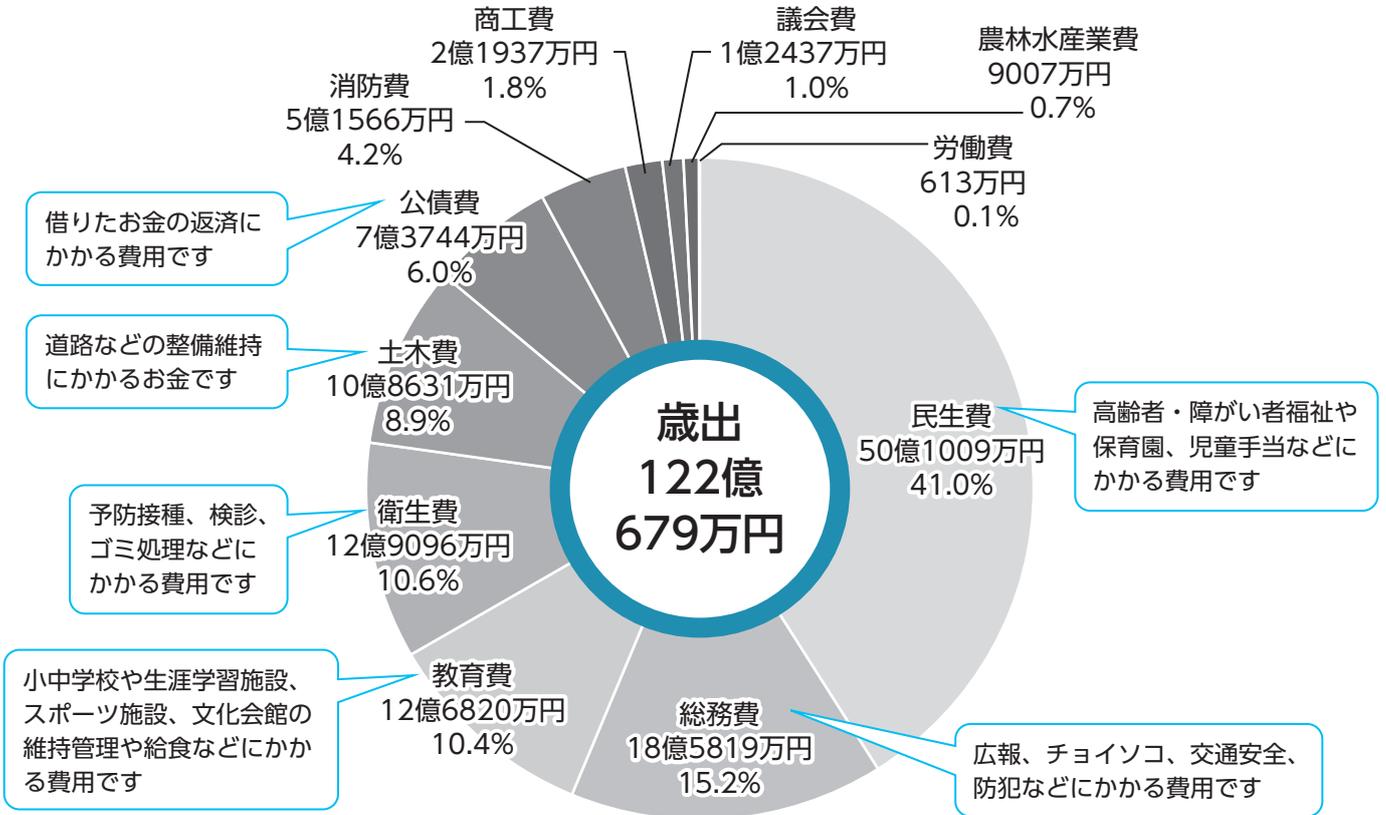
会計区分	歳入金額	歳出金額	差引金額	
一般会計	125億9765万円	122億679万円	3億9086万円	
特別会計	土地取得	2943万円	2612万円	331万円
	国民健康保険	28億8378万円	27億9373万円	9005万円
	介護保険	26億5713万円	25億5613万円	1億100万円
	後期高齢者医療	5億7862万円	5億7861万円	1万円
合計	187億4661万円	181億6138万円	5億8523万円	

## 令和4年度公共下水道事業会計

公共下水道事業	収入金額	支出金額	不足金額
収益的収支	4億4044万円	3億9846万円	-
資本的収支	6億3062万円	7億1369万円	8307万円

## 決算の概要

歳入のうち町税が前年度に比べ4億3728万円増加、また線入金が5億5356万円増加したことにより、自主財源率が大幅に増加した。歳出のうち衛生費、土庫費、公債費は増加し、教育費は減少した。



## 主な事業

### デマンド交通の実証運行



チョイソコのおかげで、江南厚生病院が近くに感じられるようになりました。運行時間を17時まで。土曜日も運行を希望。停留所の追加を、犬山中央病院と大口町のバロー。



渡邊 桂子さん(高雄在住)

### 子ども医療費拡充



長女が高校生になり、自転車通学するようになりました。乳幼児の頃のような発熱、風邪等の症状は少なくなりましたが、通学、部活等でケガをすることもあり、子ども医療費が拡充されたこと非常にうれしく思っております。



北折 由子さん(小淵在住)

### 保育園祝日保育・土曜日延長



夫婦共働きをしていて、土曜出勤があります。この制度があり大変助かりました。保育時間も16時30分までと延長になりありがたいですが、できれば安心できる時間をもう少し延長してほしいです。



横井 藍さん(柏森在住)

# こんなことを聞きました

## 予算決算特別委員会

令和4年度扶桑町一般会計歳入歳出決算認定(総務経済常任委員会所管分)

扶桑町内企業再投資促進補助金

**問** 扶桑町内に長年立地する事業者を対象とあるが、その条件は。

**答** 補助対象経費の10%が相当しその内、県と町の負担分がそれぞれ5%である。条件として愛知県内に20年以上、扶桑町内に10年以上工場等が立地している必要がある。

剪定枝チップ化・コンテナ処理委託料

**問** 剪定枝処分として、町の回収拠点へ持ち込みチップ化したものを、町民へ還元はできないか。

**答** 環境にもやさしく、再利用も可能であるため、今後前向きに還元する方向で進めていきたい。

## 個別空調機入替設置工事費

**問** 役場庁舎内空調機入替工事費の増額要因は。

**答** 当初は個別空調機1台の入替を予定していたが、追加して2台分の不具合による入替えを実施したことによる。

令和4年度扶桑町下水道事業会計利益の処分及び決算認定

**問** マンホールポンプの保守点検時での安全対策は。

**答** 道路管理者へ道路の作業届を提出し、犬山警察署にて道路の使用許可を取る。工事中は、作業範囲に規制標識等の保安設備を設置し、交通安全員を配置して安全に配慮している。

予算決算特別委員会(総務経済常任委員会所管分)への付託案件として、令和4年度扶桑町土地取得特別会計歳入歳出決算認定を含む、議案3件を審査しました。

## 総務経済常任委員会

令和5年度扶桑町一般会計補正予算(第5号)(所管部分)

**問** 財政管理事務費において、財政会計システム機器等賃借料の契約の内容及び期間はどのようか。

**答** 契約期間については令和5年から5年間の長期継続契約となっている。今回、10月から3月までの6か月分についての補正になる。

総務経済常任委員会への付託案件として、議案3件を審査しました。



(マンホールポンプ点検作業)

## 反対討論

住民の命と暮らしを守る務めを果たせていない！

荒木孝二 議員

地域公共交通、児童センターの建設、18歳までの子ども医療費の無償化など、日本共産党が求めてきた施策が計上され、その具現化については評価するが、高齢者の日常生活支援や子ども・子育て支援施策、ウクライナ侵攻を起因とする光熱水費の高騰に伴う生活支援などについては、十分な施策が行われたとは思えない。住民合意、主催者合意が危ぶまれる事業は一旦思いとどまり、この物価高騰の中で、生活に苦しむ住民に寄り添う町政に全力を挙げることが必要ではないか。自公政権の自助を強要する国策の中で、地方自治体にもその影響がおよび、住民の負担増大の原因となっている。住民の命や暮らしを守る町政の務めを十分に果たせているとは言えず、評価できない。

# 予算決算特別委員会

## 予算決算特別委員会

令和4年度扶桑町一般会計歳入歳出決算認定(福祉教育常任委員会所管分)

### 健康増進事業費

**問** サテライト方式の集団がん検診の受診者と評価は。

**答** 受診者は、1回目は山那地区で127人、2回目は北新田地区で107人。検診の初回受診率が平均3割に対し、今回は5割程度で一定の効果があった。

### 在宅福祉サービス事業扶助費

**問** タクシー料金助成事業についてチョイソコの影響は。

**答** 高齢者の増加により発行枚数は増えている。また、チョイソコとタクシー利用を上手に使い分けられている部分もあるのではないかと考える。

### 適応指導教室運営費

**問** あいあい(在籍している児童生徒)の学習の状況を、不登校対策も含め、どう考えているか。

**答** 学習指導も大切だが、それ以前にコミュニケーションの力を育てるなど社会的自立の視点を重要視して、教育支援センターとしての環境を整備していく。

### 令和4年度扶桑町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

**問** 収入未済額の中で所得階層別の100万円、200万円の方は。

**答** 200万円以下は446人、100万円以下は366人である。

### 令和4年度扶桑町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

**問** 要支援1・2の方の人数の推移は。

**答** 令和2年度414人、令和3年度409人、令和4年度445人で増加傾向である。

予算決算特別委員会(福祉教育常任委員会所管分)への付託案件として、令和4年度扶桑町一般会計歳入歳出決算認定を含む、議案4件を審査しました。

## 福祉教育常任委員会

令和5年度扶桑町一般会計補正予算(第5号)(所管部分)

**問** サングリーンハウス跡地の土地購入後の利用は。

**答** 当面シルバー人材センターが行っている事業に有効活用し、将来は町全般的施設管理計画で公共施設の候補地として有効活用する。



(サングリーンハウス跡地)

福祉教育常任委員会への付託案件として、議案4件、請願1件、陳情2件を審査しました。

## 賛成討論

### 自主財源アップと適正な執行

澤田憲宏 議員

令和4年度一般会計の前年度比で歳入101.8%、歳出102.1%である。主な原因は歳入は町税、繰入金が増加で自主財源率の大幅増加、歳出は衛生費、土木費、公債費が増加している。主な事業として児童館整備事業が完了、老朽化した町民プールの解体、デマンド型公共交通「チョイソコ(そう)」の実証運行開始、マイナンバーカード所有者の転出転入手続きのワンストップ化がある。また、昨年度は町制70周年記念事業を実施し、町内外に「活気あるまち」という明るい印象をプロモートしたことなど住民の福祉向上に大いに応えた内容であったと高く評価している。よって本決算は適正な執行と認め、賛成する。

# 補正予算の概要

## 一般会計補正予算(5号)

歳入歳出それぞれ4億7088万2千円を追加し、総額120億1476万9千円となっています。主な内容は、次のとおりです。

### 歳入(万円未満切り捨て)

#### 町民税の増額

2億7081万円

主に法人町民税の増額です。

#### クリーンエネルギー自動車導入促進補助金

110万円

電気自動車2台購入に係る補助金です。



(本庁・保健センター各1台)

## 歳出(万円未満切り捨て)

#### 土地購入費

2781万円

サングリーンハウス(シルバー人材センター)跡地959㎡購入するものです。シルバー人材センターのイベント会場等として利用します。

#### 学校教育施設建設基金積立金

3億円

避難所指定している小学校の災害に備えた施設整備を進めるための資金として積み立てます。

#### 子ども医療扶助

6788万円

インフルエンザ・RSウイルス・手足口病・ヘルパンギーナ、これらの病気が流行し増額補正しました。

## 令和5年第4回(9月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

### ○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ								共産党	日本	公明党	新政クラブ		無所属	
			伊藤 猛	大河原光雄	兼松伸行	小室輝義	近藤 裕	澤田憲宏	杉浦敏男	丹羽友樹				間宮幹男	高木義道		荒木孝三
<b>◆議案</b>																	
第49号	令和5年度扶桑町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	令和5年度扶桑町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	令和5年度扶桑町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	令和5年度扶桑町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆承認</b>																	
第1号	令和4年度扶桑町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和4年度扶桑町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和4年度扶桑町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和4年度扶桑町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆陳情</b>																	
陳情	[現行の健康保険証の存続を求める意見書]の提出を求める陳情書	不採択	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●

賛否状況 ○:賛成 ●:反対 —:議長は採決に加わらない。\*:討論者 \:欠席

**可決した意見書** 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書  
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書  
★ 意見書の全文は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)に掲載しています。★

※令和5年9月議会から議決結果一覧をホームページでご確認いただけます。是非ご覧ください。※

# 町政を問う

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。



質問者	件名	ページ
9月7日		
澤田 憲宏	持続可能な農業の推進 他1件	10
小室 輝義	水泳指導とプールの今後の在り方について 他1件	11
間宮 幹男	家庭系ごみ処理における課題や支援は 他3件	12
和田 佳活	まちの活性化に向けた取り組みについて (第2期扶桑町まち・ひと・しごと創生総合戦略)	13
矢嶋 恵美	放課後児童クラブの昼食提供について 他1件	14
伊藤 猛	安全・安心なまちづくりの中の防犯施策について 他1件	15
9月8日		
近藤 裕	指定避難所の整備について 他1件	16
佐藤智恵子	放課後児童クラブの環境整備について 他2件	17
兼松 伸行	本町の熱中症対策について	18
千田 勝文	ヤングケアラーについて	19
荒木 孝三	街路灯について 他1件	20
高木 義道	マイナ保険証について 他2件	21

令和5年9月7日8日、  
12議員が登壇し、  
一般質問を行いました。



桑政クラブ  
澤田憲宏 議員

# 有機野菜の食材購入の考えは

## 答 生産者と調整し購入を検討する

**問** 持続可能な農業の推進

**答** 農地の維持管理について遊休農地・所有者不明農地の現状は。

**問** 農地の維持管理について遊休農地・所有者不明農地の現状は。

**答** 産業建設部長 農地パトロールの結果、遊休農地は6ha、うち農業振興地域は0.4haある。所有者不明農地は農地台帳で管理している農地で登記されていない土地はない。

**問** 今後の取組みは。

**答** 産業建設部長 農地の利用権設定を行うことで遊休農地を減らしていく。

**問** 新規就農者の状況は。

**答** 産業建設部長 就農についての問い合わせはあるが、申請はない。

**問** みどりの食料システム戦略における本町の有機農業の取組みの考えは。

**答** 産業建設部長 食の安心安全を高め、健康な食生活を維持することは重要であり、持続可能な農業の促進が問われている中で有機農業に取り組み意義を留意しその支援の一つとして愛知県の補助金制度があるので予算化に向けて調査、研究していく。

**問** 有機野菜の食材購入の考えは。

**答** 教育部長 学校や保育園では給食の提供に様々な食材を購入している。有機野菜の購入は学校給食では食数が多いため難しい。保育園では現時点で行っていないが、食育活動の一環として、また、農業者支援もかねて地元の農家さんが育てた有機野菜を活用することは可能と考える。今後、給食の材料として提供できる有機野菜の必要量や価格などを生産者と調整して購入を検討していく。

**問** 令和5年度以降の工事の内容は。

**答** 産業建設部長 現在南新田交差点より犬山五郎丸交差点の区間において道路の平面化及び舗装工事等が行われている。また、歩道に電線等を埋設する地中化工事も同時に施工している。愛知国道事務所からは令和5年度末までに完了し、現在借地で切り回している道路の取り壊し及び用排水路等の復旧は6車線化完了後から工事を施工すると聞いている。工事完了後の土地利用等に支障が出ないよう引き続き愛知国道事務所へ要望し、調整等について本町も協力していく。

**問** 国道41号バイパスの6車線化工事

**答** 産業建設部長 現在南新田交差点より犬山五郎丸交差点の区間において道路の平面化及び舗装工事等が行われている。また、歩道に電線等を埋設する地中化工事も同時に施工している。愛知国道事務所からは令和5年度末までに完了し、現在借地で切り回している道路の取り壊し及び用排水路等の復旧は6車線化完了後から工事を施工すると聞いている。工事完了後の土地利用等に支障が出ないよう引き続き愛知国道事務所へ要望し、調整等について本町も協力していく。

**問** 令和5年度以降の工事の内容は。

**答** 産業建設部長 現在南新田交差点より犬山五郎丸交差点の区間において道路の平面化及び舗装工事等が行われている。また、歩道に電線等を埋設する地中化工事も同時に施工している。愛知国道事務所からは令和5年度末までに完了し、現在借地で切り回している道路の取り壊し及び用排水路等の復旧は6車線化完了後から工事を施工すると聞いている。工事完了後の土地利用等に支障が出ないよう引き続き愛知国道事務所へ要望し、調整等について本町も協力していく。

**問** 令和5年度以降の工事の内容は。



(北新田そば同好会で遊休農地を活用)



桑政クラブ  
小室輝義 議員

# 水泳指導の今後の在り方は

## 答 各学校で工夫をして目標達成に努める

**問** 夏休み中のプール開放日数は。

**答 教育長** 令和2年度から今年度も含めてプールの開放は行っていません。

**問** 今季の水泳指導の時間数は。

**答 教育長** 学年によって違いはあるが、水泳指導に必要な授業時間は約10時間である。それを超えられるよう計画をした。しかし雷など天候が悪かったり、暑くなりすぎて屋外での活動に制限がかかるなど、各校で実施できたのは8時間程度であった。

**問** 児童生徒の水泳の目標達成度に心配はないか。

**答 教育長** 令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響で、水泳指導ができない時期が続いた。人と人との密を避けてのプール指導は困難であるため、やむなく2年間中止せざるをえなかった。やっと本年度再開でき、学校のプールに子どもたちの笑顔や歓声が

戻ってきた。通常通りに指導の時間を確保できるようにになってきたので、

児童生徒の目標が達成できるよう、グループに分けての指導など工夫し各校で努力をしていく。

**問** 夏休み中の放課後児童クラブでプール活動を取り入れては。

**答 教育部長** 放課後児童クラブとしてのプール活動はしていない。令和元年度までは学校が実施するプール開放に参加する児童クラブの利用者もいた。児童クラブとしては、安全を確保するためには、職員体制やプールの水質管理等の維持管理など課題が多く難しいと考える。

**問** 各校のプールの耐用年数は。

**答 教育長** 柏森小は40年、高雄小は57年、山名小は60年、扶桑東小は36年、扶桑中は46年、扶桑北中は39年である。ただし、この耐用年数は施設

本体としてのものであり、ポンプやろ過器などの寿命については考慮されていない。

**問** 今後プールの多様な利用や集約化など広く考える必要があるのではないか。

**答 教育長** プールの活用日数が減少してきたこ

とに対して、プールの維持管理費用が高くなっている。どの自治体も今後の運用方法が大きな課題となっている。各学校単位ではなく集約化したり、民間のプールの活用など様々な視点から検討をしていかななくてはならないと考えている。



(小学校低学年用のプール)



桑政クラブ  
間宮幹男 議員

# 高齢者世帯等ごみ出し支援は

## 【答】 シルバー人材センターに委託を協議

**問** 要支援、要介護の単身世帯のごみ出し支援の現状は。

**答** **健康福祉部長** 高齢者の多くは家族や親族、知り合いなどによりごみ出しを手伝ってもらっている。また、要介護・要支援の認定者は、介護保険サービスでヘルパーを利用し、ごみの分別、ごみ出しを依頼されている。

しかし、介護認定の区分に合わせたサービス利用限度額内で生活に必要なサービスメニューを優先的に選択するため、デイサービスや他のサービス利用を優先し、ごみ出しのためにヘルパーを利用することができない場合や慢性的なヘルパー不足により、ごみ出しの曜日に適した時間帯にヘルパーを手配できないことが課題となっている。

**問** 高齢者世帯などごみ出し支援は、どのような仕組みで行うか。

**答** **生活安全部長** 病気や高齢を理由に可燃ごみ

が出せない世帯については、事前に申し出があれば、自宅前への個別回収を行っている。今後、高齢者単身世帯の増加が危惧されることから、引き続き支援策を講じる。

**答** **健康福祉部長** シルバー人材センターに高齢者世帯のごみ出し支援を委託できないか協議している。シルバー会員の生

きがいづくりにも寄与できると考える。

### 資源ごみ出し問題

**問** 自治会未加入者の資源ごみに対する見解は。

**答** **生活安全部長** 町は自治会に加入しているかどうかに関わらず、住民から排出されるごみを収集・運搬、処分する法的義務がある。ごみ収集は自治会の協力によるところが大きく、自治会加入者が未加入者に対し不満を持つことも認識している。自治会加入への取組を進めるとともに、ごみの収集については法律に

従って行っていく。

**問** 地域の資源ごみ集積場の環境について認識は。

**答** **生活安全部長** 昨今の異常気象による猛暑、突発的な降雨など回収場所での立ち当番の方には大変ご苦労をおかけしていることは、町としても十分認識している。

### 可燃性ごみ出し問題

**問** 従来のガラスよけごみネット以外の対策は。

**答** **生活安全部長** 可燃性ごみは町内の生活道路

や道路隅切り箇所に出していただいている。道路上に固定式の折りたたみ式小型可燃ごみ集積場を設置すると、道路の幅が狭くなり、交通安全の面から道路上の設置は考えていない。現在、現状のガラスネットの効果の充

実を図るため、試験的に付いたネットやスプレーの効果を検証しており、今後の導入などを含め検討している。



(可燃性ごみ出し置き場の状況)



新政クラブ  
和田佳活 議員

# 「まちの紹介」の充実は

## 答 ホームページトップ画面で紹介する

**問** 町が持続的に発展していくためには、若い世代の定住・移住を進めることが重要であり、ホームページトップ画面における「まちの紹介」の考えは。

**答 総務部長** 沿革や名物・名所・自慢、特産物といった項目に加え、「来てちょ・見てちょ・住んでちょ」ふそうちよう「のページで、扶桑町に住むってこんなカンジとして、「子育ては?」「休みの日はどこ行く?」「買い物は?」といった情報を紹介するページがある。カテゴリーが町政情報であり、町のPRとしては、探しづらいものとなっている。今後は、移住促進のため、町のイメージ発信をするために、いろいろな工夫によりホームページを充実させていきたい。

**問** 「まちづくりアイデア」出しの場を  
地域住民一人ひとり

の「自分の住む地域をさらに良くしたい」という主体性はまちづくりの貴重な原動力であり、「若者の創造力」を育て、活用していくための「住民主体化」の考えは。

**答 総務部長** 住民が主体的に担うことのできる公共領域は、住民が主体となり行うことが一番良い形と言える。住民主体の姿が多くみられる町は、地域が活性化しているとも言える。

**問** 行政施策において、住民・職員による「まちづくりアイデア」出しの場が必要ではないか。

**答 総務部長** アイデアをいただき、行政と住民が一緒になり、さまざまな公共サービスが展開できる。目的やテーマをきちんと掲げ、住民のアイデアが生かせるものにして行っていきたい。

**問** 「イベントマネジメント」の未来への考察は  
今後の産・官・民参

加のイベント開催の考えは。

**答 生活安全部長** 町制施行70周年のイベントは、町内企業様、住民の皆様との協力で、大変好評なイベントを繰り広げることができた。皆様の得意分野を活かしながら、住民を主体とし、産・官がそれを支える方向性で新しいイベントの研究を行っており、まず公募にて住民の皆様が参加して頂く会議を開催する。

**問** イベントは開催その

ものが目的ではなく、何らかの目的を達成するための手段と考え、明確な目的意識を持つことが大変重要である。「イベントマネジメント」の未来への考察は。

**答 生活安全部長** 公共性が高く明確な目標があるイベントを作り上げるとともに、住民主体の実行委員会を組織していくことも含めて、どのような方法が最善か考えていきたい。



(夏祭り「盆踊りイベント」扶桑発展会開催による)

# 放課後児童クラブに昼食提供を



無所属  
矢嶋恵美 議員

## 【答】 要望はあるので前向きに検討する

**問** コロナ禍で学校給食共同調理場が3か月稼働停止になった時、夏休み中の放課後児童クラブなどに昼食提供の有効活用を検討されてはどうかと質問したが、その後の状況は。

**答 教育部長** 夏休みの有効活用の検討は、お弁当方式と学校給食方式で検討したが、いずれも食器、配膳場所、修繕、保守、点検等課題が多く安定的に提供は難しいと考える。

**問** こども家庭庁は、社会環境のニーズもあり給食センターの活用のみでなく宅配弁当活用などを紹介し全国の自治体に検討を促している。本町の児童クラブの利用者のニーズの現状把握と当面の課題の整理は。

**答 教育部長** 利用者ニーズ現状把握のため、受益者負担の昼食提供に関するアンケートを490人配布し回答401人で、「食事提供利用する」78%、その理由として、「持参弁

当の準備に負担がある」「衛生面に不安がある」合わせて97%、昼食提供のニーズは高いものが示された。課題として、昼食提供先の確保と利用者ニーズにあった弁当を適正な価格で配送できる事業者の選定がある。

**問** 周辺市町の動きはまだまだ少ないが、働きやすい子育て環境整備のさらなる充実を目指し、今後の対策と方向性は。

**答 教育部長** アンケート利用者の意見を踏まえ具体的な課題の整理をし、負担軽減や衛生面の不安解消につながるよう前向きに検討する。働く世代が安心して預けられる環境にしていきたい。

**問** 学校給食無償化に向けて国や県内では、無償化の動きがある。周辺自治体の無償化の実施状況は。

**答 教育部長** 大口町は半額、犬山市では、第3子無償化に加え、令和5

年9月から小学6年生、中学3年生の無償化、他の市町も段階的に無償化について検討している。

**問** 本町で実施した場合の影響額は。

**答 教育部長** 全小中学生対象とした場合は、1億6千万円、第3子と小学6年生、中学3年生対象だと3千8百万円、第3子と中学生全員だと6千2百万円となる。

**問** 今後無償化に向けての考えは。

**答 教育部長** 子育て支援に向けて拡充を考えている。経常的予算が必要となる。国の動向に注視し検討する。



(児童クラブ内での昼食)



桑政クラブ  
伊藤 猛 議員

# 新設交番設置の考え方は

## 警察と協議しながら要望していく

安全・安心なまちづくり  
の中の防犯施策は

**問** 防犯カメラの公共施設への設置状況は。

**答** **生活安全部長** 本町の鉄道の3駅、交差点、学校、保育園、公園等の公共施設において、監視カメラを含めて92台設置。

**問** 主要幹線道路への設置状況は。

**答** **生活安全部長** 県道一宮犬山線の高木地内に1台、柏森地内に1台、県道草井羽黒線の南山名地区に1台、町道高雄橋爪線の高雄地区に1台。今年度新たに2台設置を予定している。

**問** 地区管理の防犯カメラと民間カメラの設置状況は。

**答** **生活安全部長** 地区管理の防犯カメラで平成28年度以降に扶桑町防犯カメラ設置費補助金の交付を受けたものは30台設置されている。県で実施している地域自主防犯活動活性化促進事業により、北新田地区住宅対象侵入

盗対策事業及び安全対策事業として令和2年に2台設置。民間の防犯カメラ設置状況はコンビニエンスストア、銀行、大型商業施設、スーパー等に設置されていると思われるが町は把握していない。

**問** 新設交番設置の考え方は。

**答** **生活安全部長** 現在犬山警察署管内では、犬山市に交番、駐在所がそれぞれ3カ所、扶桑町に交番が1カ所、駐在所が2カ所設置。交番の要望については、所轄署が治安情勢に応じて設置するもので、警察と協議しながら要望について検討したいと考える。パトロールを増やすよう依頼するなど警察と連携し防犯対策に努める。

### キツネ対策は

**問** キツネの被害状況は。

**答** **産業建設部長** 被害状況、目撃情報については、電話や窓口を訪れた住民の方より情報が寄せ

られている。畑での目撃や農作物を食べ荒らしているなどが寄せられている。

**問** 今後のキツネ対策は。

**答** **産業建設部長** キツネは鳥獣保護管理法により、野生動物としての保護の対象となっているため、原則、駆除・捕獲ができない。キツネを寄せ付けない対策が大切である。動物の嫌がる匂い、音や光、ネットや柵の設置など、対策を行う事で宅地内や畑への侵入を防ぐ事が出来る。キツネに餌を与えない。夜間に家庭から出る生ごみを捨てないようにするなどして、キツネが住宅街に入らないようにする対策がある。キツネから人間や飼い犬への感染症としてエキノコックスが寄生している可能性が有るため、目撃してもむやみに近づいたり接触しないようにする。今後、注意喚起として、広報紙・広報無線・ホームページを活用して周知していく。



(令和5年8月23日斎藤地内で撮影)



桑政クラブ  
近藤 裕 議員

# 指定避難所の空調整備設計は

**答** 予算化を進めていきたい

**問** 災害が発生し、実際に多くの人が避難した場合、現在の指定避難所における室温管理に問題はないか。

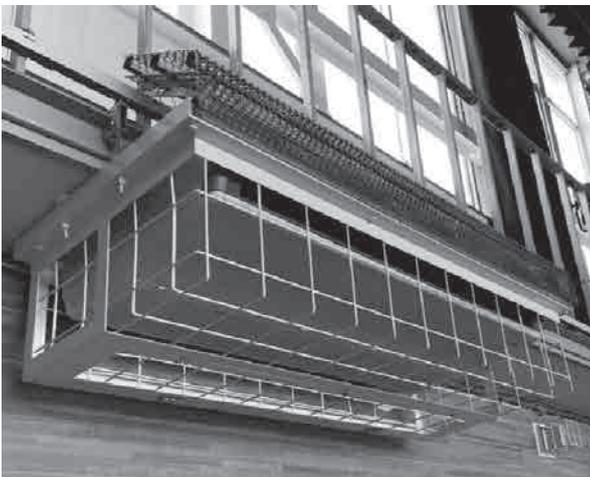
**答** **生活安全部長** 避難所になる4小学校の体育館の現状設備では、真夏の日の気温や避難されている人数により、とても過ごしづらい状況になることや、また冬に氷点下になった場合は、全体を温めることは難しいことが予想される。

**問** 災害時の指定避難所としての機能を果たすための猛暑対策として、体育館への空調整備は切迫した課題と考える。過去には災害時に長時間にわたる停電の事例が幾度もある。そこで、避難所では既存インフラに頼らない自立型の電源が必要になってくる。LPガス災害バルクを設置し、電気、空調、給湯を備えた避難所整備の考えは。

**答** **総務部長** LPガスは他の燃料に比べ劣化が少なく、長期保存ができるエネルギーとして災害に強いとされている。このシステム導入には国庫補助制度もあり、災害時に備えたインフラ整備として、本町としても以前より注目しており、研究を進めているところである。

**問** 来年度予算に災害用LPガスバルクを使用し、指定避難所空調整備設計の計上は。

**答** **総務部長** 非常に有効なものと捉えており、特に学校体育館への設置については、早期実現に向けて検討していきたい。経済産業省の補助事業となる工事は単年度で完了することが必要であり、非常に厳しいスケジュールになっている。このため、前年度の設計が必須になることから、概略的な仕様を決定する基本設計と、それを基に詳細な設計を行う実施設計の予算化を進めていきたい。



(大府市で設置されたLPガス空調室内機)

**特殊詐欺防止対策のPR方法**

**問** 特殊詐欺による詐欺事件は、手口を変えて未だ増加傾向にある。本町において、令和4年度より開始した特殊詐欺防止用電話機器購入補助金の交付状況は。

**答** **生活安全部長** 令和4年度の補助実績は20件で、今年度は8月末までに13件交付決定している。

**問** 対象となる高齢者の数と交付状況を比べると、制度の利用率は僅かなものである。対象者が高齢者であることを考え、今後どのようなPR方法を進めていくのか。

**答** **生活安全部長** 従来からの、ひまわりあんしん情報メール、広報無線や広報紙に加え、犬山警察署と連携して、各地区からの要望に応じた出前講座の実施や、老人クラブ、民生委員の会議などでPRし、高齢者へのチラシ配布も合わせてお願いしていく。



公明党  
佐藤智恵子 議員

# 放課後児童クラブ支援員の拡充を

## 答 安全安心の体制整備を検討する

**放課後児童クラブの環境整備**

**問** 放課後児童クラブでは通常時、長期休暇中も支援員の配置基準は守られていると思うが、少し援助が必要な子も増えていると聞いている。支援員の拡充が必要ではないか。

**答 教育部長** 近年、長期休暇中の登録児童の増加、援助が必要な児童が増えていると実感している。支援員等の拡充を含め、子どもたちが安心して安全に過ごせるよう体制整備を検討していく。

**問** 長期休暇中のお弁当について、保護者の負担軽減や衛生面など心配の声がある。認識と今後の方向性は。

**答 教育部長** クラブ館には冷蔵設備がないため、各自保冷剤を利用するなど工夫されている。アンケート調査では、「食事提供について利用する」が78%、「準備に負担がある」が77%、「衛生面に不安が

ある」が20%。昼食提供を希望される方のニーズは高いと感じる。

今後は利用者のご意見を踏まえ、受益者負担による昼食提供の具体的課題を整理し、保護者の負担軽減、衛生面の不安解消、また安全に過ごせるよう検討する。

### 定住促進

**問** 「日本学生支援機構」によると、大学生の2人に1人が奨学金を利用するまでに制度が充実してきた反面、「返済が苦しい」「負担が重い」等、家計の収入減などにより延滞者の増加も指摘されている。

「一定期間定住し、就職する」等の条件を満たせば、対象者の奨学金返済を自治体が支援する制度がある。返済に苦しんでいる若者の負担軽減、地方創生の観点から、地方定住を促す支援制度の認識と導入の考えは。

**答 総務部長** 先進的な事例で、地域産業を担う

中小企業等に就職した若者に対して、市と雇用主が一体となって奨学金返済の一部を補助しているところもある。当町としては、今年度長期優良住宅等定住促進補助金として、住宅を購入して定住する子育て世帯に対して、20万円補助する事業を開始したところで、まずはこちらを促進していきたいと考えているが、奨学金支援制度を利用した事業についても、他市町の今後の動向を含め研究していく。

### 防災対策

**問** 災害発生時、災害対策本部における電源供給は必須条件だが、最低3日間対応の発電機が設置されているか。

**答 総務部長** 24時間稼働の発電機を3台設置。燃料の調達・補充を行うことで3日間の電源を確保していきたい。

**答 生活安全部長** 2社と災害対策用燃料の優先提供等に関する協定を結んでいる。災害時等には燃料の優先的提供により町の支援をさせていただく。



(柏森放課後児童クラブの様子)

# 暑さ指数測定器を購入する考えは



桑政クラブ  
兼松伸行 議員

## 答 購入する方向で検討する

**問 熱中症対策** 保育園、小中学校の熱中症対策の現状と暑さ指数測定器(以下測定器と呼ぶ)の活用は。

**答 教育部長** 保育園や小中学校では、定期的に水分を補給するよう指導をしている。保育園では、外での遊びを控えたり、活動内容を変えたり子ども達の安全に配慮している。また学校では、屋外で活動するときは児童生徒に水筒を持たせ、適宜水分補給を促したり休憩の時間を入れたりしている。なお、登下校時には、日傘の使用も認め、中学校においては、夏休み期間中に部活動のため登下校する際は、自転車の使用を認めて、熱中症にならないよう、注意を払っている。測定器については、各保育園、小中学校に配備されて、1日に複数回定期的に測定し、その結果により活動内容を変更したりするなどの措置をしている。

**問 公共施設や職員の熱中症対策は。**

**答 総務部長** 公共施設の熱中症対策については、適切な温度管理のもと、利用者や職員の安全に配慮し、一時的に暑さから逃れ休憩することが出来るよう、各公共施設をク

ルスポットとして開放もしている。次に職員の対策には、環境省ホームページや報道などで示される暑さ指数(WBGT)を目安として行動することが可能と考えており、各部署に情報共有している。

**問 暑さ指数測定器を購入する考えは。**

**答 総務部長** 教育や保育の現場においては既に測定器により暑さ指数を測定し行動制限を行っている。

**答 副町長** 購入の方向で検討する。



(暑さ指数測定器)



新政クラブ  
千田勝文 議員

# ヤングケアラーの相談対応は

## 答 スクールソーシャルワーカーが主に

**問** 相談窓口の対応及び内容並びに件数は。

**答 教育長** 保護者からの相談はほぼない。学校からの依頼で、スクールソーシャルワーカーが年間2回ほどの相談を受けている。

**問** 教職員及び学校関係者への周知状況は。

**答 教育長** 校長会を通じて、すべての教職員にヤングケアラーについて理解を深められるように周知している。学校ではすべての児童生徒から悩みを聞く教育相談を年3回実施しており、そのアンケート項目にヤングケアラーの内容を追加したので、十分に周知できていると伺っている。

**問** 愛知県の調査結果からみる本町の状況は。

**答 教育長** 小学5年生、中学2年生を対象に行われた県の調査によると、家族の世話をする子どものうち、約15%の児童生徒が家族の世話をしているのが辛いと感じているとい

う結果だった。本町では、ヤングケアラーとして把握している人数が2人と少なく、事案も軽度であり、日々の生活に支障をきたすような児童生徒は少ないと考えている。

**問** ヤングケアラーにある子どもの早期発見のための手法は。

**答 教育長** 学校の様子から発見するのが大切とされる。厚生労働省は「ヤングケアラーの早期発見のためのアセスメントシート」を作成している。例えば、身だしなみが整っていない、給食時に過食傾向がみられる、極端に痩せてきた、太ってきた、居眠りが多い、学校を休みがちである、宿題や持ち物の忘れ物が多い、など25項目がある。本来守られるべき子どもの権利が守られるよう、引き続き、アセスメントシートを参考に児童生徒の服装や言動等に気を配り、気にかけているなどして、早期

発見に努める。

**問** 外部機関との連携は。

**答 教育長** 学校でヤングケアラーとなっている児童生徒がいた場合、スクールソーシャルワーカーと連携して状況を確認していく。また、子ども課や福祉課などと連携し、保護者と連絡を取り、必要に応じて児童相談所と連絡を取り合い、状況に応じて必要な機関と連携を図っていく。

**問** 支援計画、役割分担の今後の対応は。

**答 教育長** 現在、ヤングケアラーの児童生徒の数が少ないが、学校の役割は、児童生徒の小さな変化を見逃さず、早期発見することにある。虐待事案をはじめとする子どもと家庭をめぐる様々な事案では、学校教育課、子ども課、福祉課、その他関係機関とともにケース会議を開催し、支援計画を立て、見守りを継続する体制を整え、対応する。



# 街路灯における LED 化は



日本共産党  
荒木孝三 議員

**答** 令和8年度で全て完了



(LED前の街路灯)

**問** 地区別におけるLED化は。

**答** 産業建設部長 町内

には町管理の2466基の街路灯が、設置されている。地区別では、次のとおり。

- ・高雄地区  
総数987基でLED灯は541基(54・8%)
- ・山那地区  
総数87基でLED灯は32基(36・8%)

・小淵地区

総数81基でLED灯は37基(45・7%)

・南山名地区

総数263基でLED灯は131基(49・8%)

・斎藤地区

総数331基でLED灯は170基(51・4%)

・高木地区

総数104基でLED灯は51基(49・0%)

・柏森地区

総数613基でLED灯は281基(45・8%)

町全体では、1243基で、50・4%のLED化となっている。今年は、490基分の予算を計上し、4月から7月末で122基がLED化され、残り368基を今年度中に取り替え、合計で1611基となる。令和8年度で全てLED化となる。

**問** 取り替えの条件は。

**答** 産業建設部長 街路灯の取り替えは、灯具の破損、球切れ、老朽化、部品交換、地元要望による明るさ不足などで、要望された箇所を優先に適時行っている。なお、新設箇所は、今年度は、30基分(340万円)確保している。

後期高齢者の健康診断項目は

**問** 高齢者の社会参加を促進するため、健康診断に聴力検査を。

**答** 健康福祉部長 令和4年6月議会にて回答をしているが、追加するのは難しいと考える。聴力検査を希望の方には、人間ドックの受診を促していきたい。

**問** 高額補聴器の負担軽減を。

**答** 健康福祉部長 前回の6月議会、そして過去にも高齢者の補聴器助成について回答しており、高齢者の加齢性難聴とそれに伴う補聴器の意義を充分認識をしている。高齢者の加齢性難聴に対する課題については、予防や悪化を防止する対策が大事と考える。高額となる補聴器の負担軽減施策など高齢者の加齢性難聴に対し有効な対策と制度を研究していく。



日本共産党  
高木義道 議員

# チョイソコ江南厚生病院乗り入れは

## 答 閉ざされないよう交渉を進める

**問** 「チョイソコふそう」の実証運行が1年経過した。10月より本格運行の予定であったが、1年延期して実証運行を続けるのはなぜか。

**答 生活安全部長** 今年度に入り、「道路運送法の4条」の許可を進める際、江南市内を運行する公共交通事業者から事業者に対し、どれくらいの影響があるのか協議ができていないと申し入れがあり、現段階では、江南市地域公共交通会議で承認を得られる見込みがないため、扶桑町地域公共交通会議の場において、1年間の延長を決定した。

**問** 江南厚生病院への利用を希望する利用者の状況は。

**答 生活安全部長** 運行開始から8月末時点で、延べ予約件数1万11123件、江南厚生病院で乗り降りされた件数2071件、全体の18・6%にあたる。降りた件数1309件、乗った件数76

2件でこの路線を利用された方は331人で重要な目的地であると考えている。

**問** 町の高齢者福祉施策事業について、江南市に理解を求めるための努力、方策は。

**答 生活安全部長** 中部運輸局愛知運輸支局が仲介する形で協議を進めていく。江南市の公共交通に対して悪い影響はないことをデータなどで示しながら理解をいただき、江南厚生病院への運行が閉ざされないよう、最大限の努力をしていく。

### マイナ保険証

**問** 「マイナ保険証」トラブルについての認識は。

**答 健康福祉部長** 個人番号カードの健康保険証の利用において、誤って別の人の保険証に紐付けされて健康保険の資格データが反映されず、本人確認ができないなどの事例が一部自治体で発生していることは報道など

で認識している。

**問** 当町のマイナ保険証の発行数は。

**答 健康福祉部長** マイナンバーカード(個人番号カード)の発行枚数は8月31日時点で2万7324枚、交付率はおおむね78%。マイナ保険証は個人で紐付けをされている状況のため、現状では把握はできていない。

**問** これまで通り健康保険証を発行すれば、資格確認書はいらない。マイナ保険証に切り替える必要があるのか。

**答 健康福祉部長** 投薬の関係や医療機関の情報共有など、メリットの部分が大いという認識のもとに制度が成り立っているのご理解いただきたい。



(江南厚生病院)

☆キラリ☆

まち人紹介

期待しています



千田健治さん(45) 高雄羽根在住 会社員

## 「神楽囃子保存会で活動」

小学生の頃から、伝統芸能保存会に参加し、現在では指導者として活動しています。羽根地区の神楽囃子は1831年から続いており、200年を迎えようとしています。現在は、笛、太鼓、獅子舞等を後世に引き継いでくれるよう子どもたちに指導し努力しています。子どもたちだけでなく、大人の方も是非地元の伝統芸能保存会に参加し、後世に残し一緒に扶桑町を盛り上げていきましょう。



篠田さかえさん 高雄扶桑台在住

## 「子どもたちに楽しい体験の場を」

自分が自然豊かな環境で育ったので、子どもたちにも身近に自然に触れられるよう、また農家さんに想いを寄せられる場として「マルベリー～畑、ときどき楽食♪～」で畑体験を企画しています。また「でららぶ♥竹プロジェクト」では、荒れる竹藪対策に、竹を活用しつつ楽しいことを出来ないか模索しています。学校では体験出来ない仕事を地域の方との世代交流も狙って企画しています。

## お知らせ

「会議録検索システム」  
インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場  
ホームページ

扶桑町議会

扶桑町議会  
会議録検索システム

●9月定例会分は、11月30日に更新を予定しています。

## 12月定例会の日程(予定)

11月30日(木)	開会・提案説明
12月 7日(木)	一般質問
12月 8日(金)	一般質問
12月11日(月)	議案質疑
12月12日(火)	福祉教育常任委員会
12月13日(水)	総務経済常任委員会
12月20日(水)	委員長報告・討論・採決・閉会

場所:扶桑町役場2F議場  
時間:午前9時30分～